

幼稚園・保育所(園)から 小学校までの切れ目ない支援

(特別支援教育に係る小学校入学までのスケジュールや仕組み)

春日市子育て支援課
子ども発達支援室

プレゼンテーションの流れ

- ① 特別支援教育の内容
- ② 特別支援学校
- ③ 特別支援学級
- ④ 通級による指導
- ⑤ 入学までのスケジュール
- ⑥ 入学までにつけたい力
- ⑦ 春日市子ども発達支援室

① 特別支援教育の場

春日市の児童・生徒

県立特別支援学校（小学部）

春日市立小学校（12校）

特別支援学級

通常学級

+

通級指導教室

② 特別支援学校

対象となる障害の程度

障がいのために、人との意思疎通が困難で、日常生活を営むのに煩雑に援助を必要とする程度の児童

対象となる障がいは、下記の5つ

知的障がい・視覚障がい・聴覚障がい・肢体不自由・病弱

特徴

- ・ 専門性の高い先生方が一人一人に応じた支援をする。
- ・ 1学級定員6名まで
- ・ 充実した施設と豊富な教材、十分なスタッフ
- ・ 様々な支援体制（通学費や教材費の公的補助、スクールバス等）

春日市からの主な就学先

特別支援学校は区分に応じて就学先が異なります。

春日市に在住する児童の主な就学先は以下のとおりです（学校名（障がい区分））。

①福岡県立太宰府特別支援学校（肢体不自由）



②（仮称）福岡県立早良特別支援学校（知的）

※ 現在建設中。令和8年度開校予定。

③福岡県立福岡視覚特別支援学校（視覚）



④福岡県立福岡聴覚特別支援学校（聴覚）



③ 特別支援学級

障がいの程度

障がいのため、社会生活への適応に一部援助が必要な児童

対象となる障がいは、下記の7つ

知的障がい、自閉症・情緒障がい、肢体不自由、病弱、
言語障害、弱視、難聴

特徴

- ・ 障がいの種別によって、学級が設置される。
- ・ 1学級定員8人
(在籍する児童・生徒の状況によって、学級設置状況は変わります)

通常学級の時間割と特別支援学級の時間割の例（1年生） 7

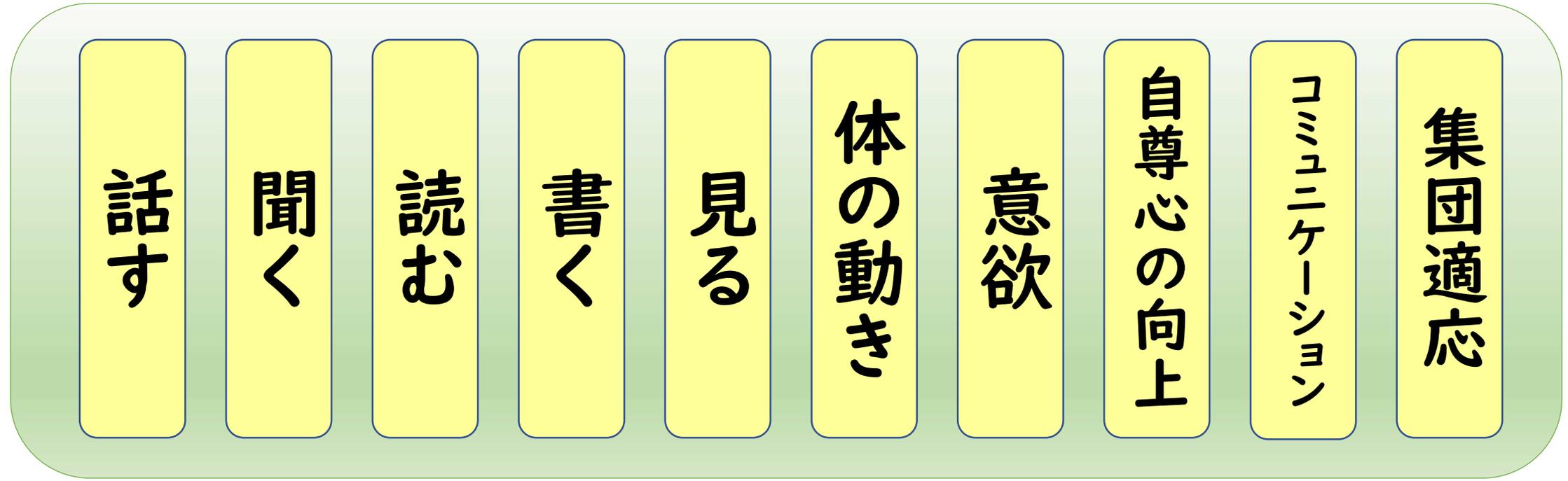
通常学級

	月	火	水	木	金
1	国	算	国	算	国
2	算	国	算	国	国
3	音楽	体育	図工	体育	図工
4	国	国	生活	国	生活
5	生活	道徳	特活	音楽	体育

特別支援学級（自・情クラス）

	月	火	水	木	金
1	自立	算	自立	算	自立
2	自立	国	自立	国	算
3	音楽	体育	図工	体育	図工
4	国	国	生活	書写	生活
5	生活	道徳	特活	音楽	体育

- ・ 特別支援学級では、総授業時間のうち、半分以上は特別支援学級担任が指導。
- ・ 教育課程は、一人一人の実情に応じて個別に編成する。
- ・ 特別支援学級では、「自立活動」や「生活単元学習」などの学習活動を行う。
- ・ 実情や行事に応じて、各教科時数を調整することもある。



- 人間として調和のとれた育成を目指して実施される学び
- 障がいによる学習上又は生活上の困難さを改善・克服するための学び
- 自立活動が各教科等において育まれる資質・能力を支える役割を担っている。

なぜ、自立活動が必要か

9

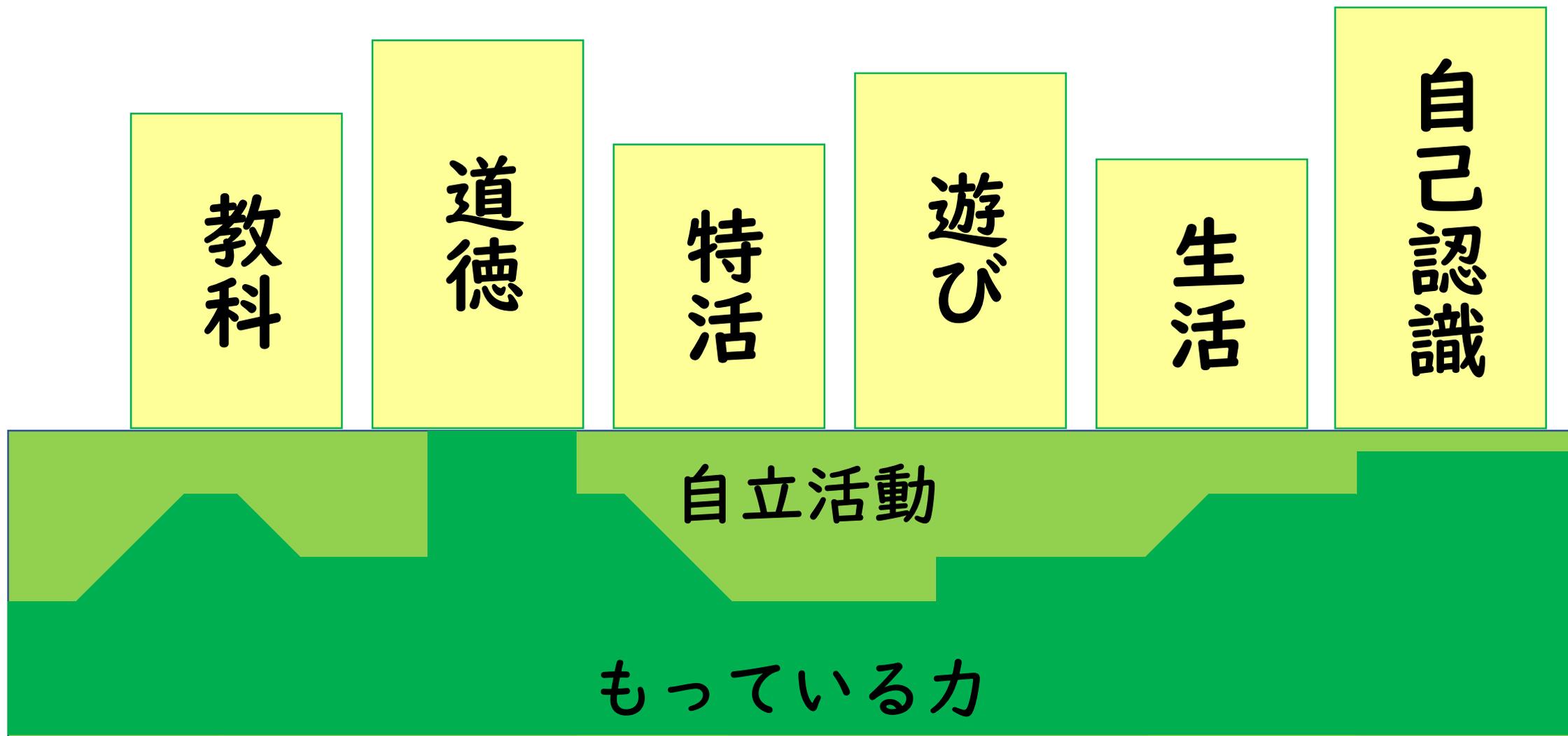


なぜ、自立活動が必要か



なぜ、自立活動が必要か

11



生活単元学習

12

実体験を伴いながら、様々な教科・領域を総合的に学ぶ指導形態

国語

- ・チラシ作り
- ・バザー後の作文
- ・丁寧な話し方（CM）
- ・相手の話を聞く



生活科

- ・野菜の成長観察
- ・野菜の栽培

図工

- ・もの（製品）作り
- ・チラシ作り

算数

- ・商品を数える
- ・金銭の計算
- ・価格設定と収益
- ・アンケート集計

例) バザーをしよう

自立活動

- ・コミュニケーション
- ・清潔（衛生）意識
- ・達成感、自己有用感

特別支援学級で期待できること

- 学習内容や宿題など、保護者と相談しながら、実情に応じて進めていきます。
- 集団活動が苦手、騒音（過剰な音刺激）が苦手、集中することが難しい等のお子さんは、場面に応じた対応や環境調整の仕方を学んだり、過度な緊張をクールダウンしたりすることができます。
- 子どもの話を聞き、丁寧に保護者等の支援者に説明し、子どもと保護者の心理的安定を図ります。
- 個別に学習環境を調整し、できたことに注目しポジティブに評価することで自尊感情を積極的に高めます。

④ 通級による指導について

障がいの程度

通常学級の学習におおむね参加でき、一部特別な指導（自立活動）を必要とする児童

対象となる障がい

言語・LD・ADHD・自閉症・情緒障がい・弱視・難聴 等

特徴

1～2週間に1回、自立活動を中心に行う。

指導の場は、各学校の通級指導教室（ステップルーム）

通級指導教室では自立活動を行います

15

話す

聞く

読む

書く

見る

体の動き

意欲

自尊心の向上

コミュニケーション

集団適応

- 自立活動のねらいをもとに一人一人に合った調和のとれた様々な適応力
- 障がいによる学習上又は生活上の困難を改善し克服するための学習
- 自立活動が各教科等において育まれる資質・能力を支える役割を担っている。

〈指導方法〉

16

	自校式
指導形態	個別・ペア・グループ
指導時間	1週間～2週間に 1回45分間
保護者送迎	不要

- ・通級のために、教室にいない時間は、授業を受けたものとみなされます。
- ・お子様の実態から、いくつかの内容をピックアップして指導します。
- ・指導内容は、個別の支援教育・指導計画を作成し、保護者の方に説明をします。

個別指導の流れ（モデル）

- ① 学習計画づくり
- ② お話タイム
- ③ 個別の課題①（ビジョントレーニング）
- ④ 個別の課題②（ソーシャルスキルトレーニング）
- ⑤ 活動の振り返り





①姿勢や集中力の保持を助ける道具を使用しつつ、書字の練習をする



②あいうえ表を使って、言葉を集め言葉を知り、語彙を広げながらコミュニケーション力を育成する

⑤ 入学までのスケジュール

5～8月

就学相談（個別）

特別支援学校・特別支援学級・通級による指導を希望される場合は、必ず御参加ください。

迷われている場合も参加し、相談してください。

5～6月

特別支援学級・通級指導教室見学会（各小学校）

特別支援教育に関する説明と通級指導教室の見学があります。対象校の日程で調整がつかない場合、入学までの間に学校が個別で対応してくれます。

5～7月頃

特別支援学校見学（各特別支援学校）

特別支援学校への就学を希望する児童およびその保護者を対象に、特別支援学校の学校見学が行われます。特別支援学校へ就学する場合は、見学への参加が必須になっておりますので、ご参加のほどお願いいたします。申込み方法は、例年、各所属先から特別支援学校へ申し込む方式がとられていますが、詳細は特別支援学校までお問い合わせをお願いいたします。

7～9月ごろ

春日市教育支援委員会

入学後の進路について、専門家による協議を行い望ましい進路について提示されます。

進路の決定には、保護者の同意が必要です。

- 就学先
- ア 特別支援学校
 - イ 市内小学校 通常級
 - ウ 通常級 + 通級指導教室
 - エ 特別支援学級

9～11月

就学時健診（各小学校）

健康診断・学校への相談も可能です。

1～2月

入学説明会（各小学校）

入学までに準備しておきたい内容

- **基本的な生活習慣の確立**

排泄、衣服の着脱（できれば立ってズボンや靴が履ける）

食事（自分の適量を把握すること）、十分な睡眠（9～10時間）

- **コミュニケーション**

名前、挨拶、言語による表出（困ったときに主訴を伝えることこと）

- **知的面**

自分の名前が読める（可能なら書ける）

- **集団適応**

言語による指示内容理解（指示に従って行動）、不安な時や分からない時に質問ができる、集団場面におけるルール理解（公私の理解）、感情コントロール（不都合場面における適切な表出）

⑥ 春日市子ども発達支援室（いきいきプラザ内）
0歳から15歳まで切れ目ない支援を繋ぐお手伝いをします。



- ・言葉が今ひとつはっきりしない。
 - ・友達と上手に遊べていない。
 - ・落ち着きがないかな。
 - ・こだわりが強い。
 - ・言ったことをすぐに忘れる。
 - ・動作がぎこちない感じがする。
 - ・集団活動は何となく苦手みたい。
- など

御相談ください。